

蚕について地元の人が学ぶ理由

J21046 春原百々羽

このテーマを選んだ理由、ゼミの進め方

小学校での蚕学習でただ蚕を育てるだけで蚕と地元の繋がりを全く理解できていなかった。小学生がなぜ蚕について学ばなければならないのか疑問に思い、学ぶ理由を見つけようと思った。

最終目標→塩尻小学校で蚕学習の学習支援。

自分自身が知識をつけることが必要。

藤本蚕業プロジェクト

猫瓦調査



実施内容の概要

藤本蚕業プロジェクト

藤本蚕業歴史館の資料をデジタルアーカイブ化
資料の撮影、編集

猫瓦の調査

上塩尻、下塩尻、秋和を中心に猫瓦を探索
猫瓦同好会での活動
デジタルマップへの投稿



デジタルマップへの投稿

これなんだろう？



ダウンロード

皆さんはこんな瓦を見たことがありますか？
これは猫瓦といいます。

猫瓦とは、養蚕をする上で蚕がネズミに食べられてしまうことがあり、そのネズミ除けの願いを込められた瓦のこと。そのためネズミの天敵である猫がモチーフになっている。

上田市上塩尻では蚕種製造が盛んであったり、養蚕をする家が多くあった地域であるため、今でも越屋根といった養蚕特有のものが残っている。もちろん猫瓦が残る家も多くある。猫瓦はただ猫の形をしているだけではなく、文字や絵が掘られている。これらには様々な思いが込められているようだ。

<https://d-commons.net/seibu?c=48&p=9457>

実践したことの評価

藤本蚕業プロジェクトでは資料の撮影を主に行ったが、撮影することに集中してしまい、手に取った資料について読み取ったり、考えたりすることができなかった。

猫瓦では、養蚕とのつながりのある猫瓦を入り口にして地元と蚕との関係性を少しずつ理解することができた。

猫瓦を通して地元の方々との関わりができたことにより、情報の共有ができるようになった。

今後の取り組み

塩尻小学校での学習支援

猫瓦同好会

猫瓦を入り口にし、蚕について知りたいと思う人が増やし、交流できる場を作りたい。



地域住民が集まり、交流できる環境を作り、地域活性化を目指す。